

教育委員会会議録〔詳細〕は、市役所1号館2階の市政資料室で公開しています。

.....

佐倉市教育委員会会議録〔会議概要〕

令和6年12月教育委員会会議：定例会

期 日 令和6年12月18日（水） 開会 午後2時00分
閉会 午後2時55分

会 場 社会福祉センター3階中会議室

出席委員 圓城寺一雄 教育長 菅谷 義範 委員
柴内 靖 委員 清水 弥生 委員

傍聴者 0名

出席職員	教 育 長	圓城寺一雄(再掲)	教 育 部 長	緑川 義徳
	教育部参事(学務課長事務取扱)	村上 武宏	教育部参事(指導課長事務取扱)	榎本 泰之
	教育総務課長	宮崎由美子	教育センター所長	神成 裕尊
	社会教育課長	舎人 樹央	教育総務課施設班長	新川 ゆか
事務局	教育総務課教育総務班長	千々岩和代	教育総務課教育総務班	小高 純

〈 会議概要 〉

1 教育長開会宣言

2 報告事項

① 教育長より2件報告

諸般の報告を2点申し上げる。11月29日開催の校長会議と12月13日開催の教頭会議について。

校長会議では、昨今ハラスメントに対する意識が高まっている中で、部下を傷つけない、あるいは言葉かけには慎重になるという管理職の声がある中で、人材育成に向けてフィードバックという手法について考えてほしいということを伝えた。フィードバックとは、部下の仕事の現状について、しっかり伝える情報通知を行い、改善に向けて将来の行動指針をつくること、今後もどう行動を変えていくかという建て直しを図ることであり、情報通知はティーチング、建て直しはコーチングと捉えることができるものと言われ

ているものである。その中で、各職員の問題点について腹落ちさせるための対話を重ねて、寄り添いながら部下の建て直しをサポートしてほしいという話をした。

次に、不祥事根絶に向けては、対話によるコミュニケーションの重要性について話した。人はミスをしようとしてするのではないので、誰かが気づかせる必要がある。お互いの意見を言いやすい雰囲気と傾聴する姿勢での対話となされることで、状況を正しく認識し、他のメンバーと共有することも可能になり、結果として未然防止につながるということを話した。

また、教頭会議では、人材を生かす組織運営について話した。学校では、正規の教職員以外にも事務職員、用務員あるいは調理員、栄養職員あるいはスクールサポートスタッフなどという業務支援員など、様々な職員たちに支えられている。このような多様な職員の職務内容や勤務時間等を全教職員で共通理解を図ってほしいということ、そして、昨今の教員不足の中で正規職員を支える非常勤職員は、なくてはならない存在であるので、労働条件を双方が十分理解して、安心して仕事を依頼したり引き受けたりできる、そういう職場環境づくりに努めてほしいということを話した。

② 令和6年11月市議会定例会について【教育総務課長】

令和6年11月市議会定例会について報告をする。

資料、令和6年11月定例会佐倉市議会議決結果一覧の1ページ。11月市議会定例会は、11月25日から12月16日までの22日間を会期として行われた。

初めに、教育委員会に関連する議案について報告する。学校用給食米の価格高騰に伴う契約単価変更に係る案件である議案第1号及び議案第23号は、全員賛成により原案のとおり可決された。なお、議案第1号については、業務の執行上、早期に議決をいただく必要があるため、先議として議決が行われたものである。

そのほか、議案第2号については賛成多数により原案のとおり可決されている。

資料2ページ。発議案第3号、発議案第4号については、賛成少数により否決されている。

続いて、一般質問について報告をする。資料、令和6年11月佐倉市議会定例会答弁記録の1ページ。教育委員会関係の質問については、13名の議員からあった。質問及び答弁の概要については、10ページから23ページまでとなっている。内容としては、医療的ケア児に関すること、部活動の地域移行に関することなど多岐にわたる質問があった。

③ いじめの状況について【指導課長】

いじめの状況について報告する。11月末日のいじめの認知件数は、小学校が383件、中学校が278件の合計661件。今後も、校長会議、教頭会議、そして生徒指導会議等を通して、子どもたちの状況を多面的に捉えるために、校内で情報を確実に共有すること、いじめの早期発見、即日対応を確実に実施するよう指示していく。

④ 感染症の状況について【指導課長】

11月16日から12月13日までの感染症の状況について報告する。インフルエンザが138名、マイコプラズマ肺炎が37名、水痘が16名、溶連菌感染症が13名、新型コロナウイルス感染症が12名、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎が4名、手足口病3名、そして1名ずつだが、咽頭結膜熱、アデノウイルス感染症の報告があった。なお、12月2週目までに小学校4校と中学校1校で学級閉鎖、また中学校1校で学年閉鎖があった。今週に入って、インフルエンザの感染がかなり広まっており、新たに7校で6クラス、3学年で閉鎖を行っている状況である。今後も、基本的な感染予防対策を講じるよう、各学校に指示していく。

《委員から報告》

感染症の追加報告をする。

今お話があったように、インフルエンザがかなり流行している。今週の統計は出ていないが、先週、第50週、12月9日から12月15日、定点当たり24.8まで上がった。その1つ前の週、12月2日から12月8日で、このときが11.58、それからその前の週、11月25日から12月1日が定点当たり5で、倍々で増えているので、かなり勢いとしては気をつけなければいけないだろうと思う。今週かなり寒いし、乾燥しているので、多分来週の統計では結構な数になっていると思うが、もう冬休みに入る。なので、学校での注意としては今週いっぱい気をつけていただいて、予防としてはうがい、手洗い、マスクの着用、これをきちっとやっていただきたいと思う。それで、学級閉鎖、学年閉鎖の報告が先ほどあったが、こちらにも来ており、12月に入って本当に増えてきたので、かなり気をつけなければいけない。

それから、新型コロナウイルス感染症だが、先週、12月9日から12月15日で、定点当たり4.5。その前の週の12月2日から12月8日が定点当たり4.58なので、これはほとんど横ばいである。その前の週、11月25日から12月1日が定点当たり2.33なので、ここでちょっと倍になったのだが、そこから後は横ばいになっているので、インフルエンザと、COVID19の同時感染というのはほとんどないが、まずインフルエンザが今一番注意をしていただく感染症にはなっていると思う。ただ、新型コロナウイルス感染症についても十分に注意をしていただくというのは変わらない。

あと感染性胃腸炎の報告をいただいたが、これは先週12月9日から12月15日までで定点当たり5.63なので、定点当たりの数としては新型コロナウイルス感染症より多いが、そんなに爆発的に増えていなくて、その前の12月2日から12月8日の定点当たりが4.94なので、少し増えてきたのかなということ。冬に向かって、またこれも気をつけていただき、来週からはもう家庭の問題になると思う。あと手足口病が非常に話題になったが、先週は定点当たり2.5まで下がった。主なところは、大体このぐらいだと思うので、十分に寒さに向かって注意していただきたい。

3 追加議決事項

教育長より議決事項 2 件の上程

(これより非公開審議とする)

[議案第 1 号 佐倉市教育委員会職員の懲戒処分について]

《議決結果》

可決

[議案第 2 号 佐倉市教育委員会職員の懲戒処分について]

《議決結果》

可決

(ここで非公開審議を終わる)

4 教育長閉会宣言